

第1回筑紫野市都市再生整備計画評価委員会会議録（要点記録）

【開催日時】平成29年3月10日（金）14:00～15:45

【開催場所】市役所第4会議室（第1別館2階）

【委員出欠状況】

《出席委員》坂井委員、宮崎委員、山崎委員、
林田委員、森委員（名簿記載順）以上5名

《欠席委員》なし

【事務局出席者】 宗貞企画政策部長、荒金戦略企画課長、
中尾戦略企画担当係長、西田戦略企画担当主事 以上4名

【市民傍聴人】 0名

【会議概要】

1. 開会

事務局の司会により開会

2. 委嘱書交付

坂井委員が代表して藤田市長から委嘱書を受け取る。

3. 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。筑紫野市長の藤田陽三でございます。

筑紫野市都市再生整備計画評価委員会の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。また先ほど、委嘱書を交付させていただきましたが、委員を快くお引き受けいただきましたことに重ねてお礼を申し上げます。

さて、都市再生整備計画事業とは、地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進め、都市の再生を効率的に推進することにより、市民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的にした制度です。

本市でも、平成24年度末に二日市地区、筑紫地区を対象とした都市再生整備計画を策定し、コミュニティセンターの整備などまちづくりのための事業を進めてまいりました。

本日の評価委員会では、これらの都市再生整備計画事業がもたらした成果を客観的に

検証いただいた上で、今後のまちづくりに向けた忌憚のないご意見を賜りたいと考えているところでございます。

最後になりますが、改めて貴重なお時間をいただき、本市のためにご貢献いただきます委員の皆様へ感謝を申し上げますとともに、本委員会における率直なご意見、活発なご審議をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。皆様、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

4. 委員、事務局職員の紹介

各委員が自席より名簿記載順に自己紹介を行う。

事務局職員が自己紹介を行う。

5. 委員長・副委員長の選任

筑紫野市都市再生整備計画評価委員会設置条例第5条第2項に基づき、委員長、副委員長の互選を提案。

事務局からの提案（委員長を坂井委員、副委員長を林田委員とする提案）について全員一致で決定。

6. 議事

(1) 委員会の運営について

事務局より説明。確認事項は以下のとおり。

- ・会議は公開とする。公開する部分は議事のみ。
- ・傍聴人の定数は、3名を限度とする。
- ・会議録の調製方法は、録音機収録による要点記録。
- ・発言者の記載方法は、委員長・副委員長・委員・事務局等の職名を記載する。
- ・会議録は市ホームページで公表する。
- ・委員名簿は市ホームページで公開する。
- ・傍聴人への資料の配布は、会議次第のみの配布とする。

(2) 都市再生整備計画の概要について

事務局より以下のとおり説明。

都市再生整備計画事業は都市再生特別措置法に基づく事業で、社会資本整備総合交付金の基幹事業であること等、事業について説明。

その後、二日市地区都市再生整備計画、筑紫地区都市再生整備計画について説明。

(委員長) 今、議題の(2)まで説明をいただきましたが、この後の議題である(3)成果の評価、検証について、(4)今後のまちづくりについて、まで説明をいただいてから意見、質問等をいただいた方が議論しやすいと思うのですが、皆様そのような形で良いでしょうか。

(委員) 異議なし。

(3) 成果の評価、検証について

(4) 今後のまちづくりについて

二日市地区、筑紫地区それぞれの事後評価シートの内容、成果指標等を説明。

(委員長) 今回の委員会は交付対象事業費のおおよそ4割を国の補助金の交付を受けて事業をおこなっており、その補助金の使われ方が適切であるかどうかも含めて事業の評価をしてほしいと、そういう趣旨に理解していますが、それでよろしいでしょうか。

(事務局) はい。

(委員長) 計画は24年度に策定したのですか。

(事務局) そうです。

(委員長) この計画が28年度までになっていますので、28年度末の現在、ほぼ事業は完了している訳です。それを踏まえて事後評価シートの内容が適切かどうかという点を中心にして議論していければと思っています。

それからもうひとつは、これからのまちづくりをどうしていくかという事も後半で話していければと考えています。

(事務局) はい、よろしくお願いします。

(委員長) 指標について、各地区いずれもコミュニティセンターの利用人数を指標にあげており、各地区共通の目玉と言えます。二日市地区の二日市東コミセンは開館したばかりということで目標値には届いていません。筑紫地区の筑紫コミュニティセンターは2月末までの集計で既に年間目標をクリアしています。二日市東コミュニティセンターについても平成28年度中は年度途中の開館だったということで、今後は、利用者数は伸びていくことが期待されるとのことでしたが、これについて、コミュニティを代表して来られている委員にお話を聞きたいと思います。

(委員) 筑紫コミュニティセンターが出来ておおよそ3年になります。コミュニティ組織ができたのが2年半前です。その中で、住民参加型として文化祭や、ウォーキング、講演会等の事業を行ってきました。講演会では100人規模、多いときは200人ぐらいの参加者がありました。つい先日も安西均生誕100年記念の講演会を開催しています。このことから、以前の多目的集会所では狭くて開催できなかった事業もコミュニティセンターが整備されたことでできるようになりました。

また、安全安心の面では、筑紫地区に公園が複数整備されているが、筑紫駅前2号公園の地下にも防火水槽が整備されています。また、その前でいうとイカリ池を改修し、そこを貯水槽として利用しています。2号公園とイカリ池の整備は計画書に記載がないが、これは平成24年度以前の事業だからでしょうか。

(事務局) はい、2号公園等はこの計画を策定する前に行った事業なので計画書には記載がありません。

(委員長) ありがとうございます。続いて、林田委員なにかご意見ありますでしょうか

か。

(委員) 二日市東コミュニティセンターは平成28年10月2日に開館したが、やはりこれからだと思っています。他地区を見て日々勉強しています。

(委員) 資料に筑紫駅舎の保存事業が記載されていますが、これは毎年8月9日に駅舎の前で慰霊祭を行っており、その後隣接するコミュニティセンター内で平和集会を行っています。そういう意味でも整備することにより、まちづくりの役割を果たせていると思います。

(委員長) はい。それでは次に、商工会関係として宮崎委員、いかがでしょうか。

(委員) はい。指標の中に安全安心への満足度とありますが、事後評価シートの様式の地図を見てもらえれば分かりますが、二日市地区はずっと以前から住宅等が密集している地域でありました。筑紫地区は、以前はいわゆる「過疎地域」から、近年やっとなちづくりが盛んになってきたという印象があります。指標の満足度の実績値を見たら、妥当な数値であるように思います。

また、観光入込客数について、商工会の立場から言いますと昔は工業従事者の方が多かったですが、現在では、人口もそんなに増えなくなって工業では以前ほどやっていけなくなっています。今は商業や、サービス業、こういったものが非常に多くなっており、この10年20年で街並みがかなり変化しました。二日市地区は交通の便は良いといわれているが、私は良いようで悪いと思っています。JR西鉄間は歩いていく分にはアクセスは良いが、車で行く分については非常に不便であるし、歩行者にとっては非常に危険な地域であると思っています。

(委員長) ありがとうございます。今後のまちづくりの参考になるご意見です。二日市地区は、駅周辺がまだまだ手をいれていかななくてはと思いますし、交通関係では、市全体にいきわたるような交通体系が構築できていません。そこは、重たいですがこれからの課題だと思います。

(委員) 観光についてですが、今でこそ太宰府天満宮は有名ですが、20~30年前はそんなに有名ではありませんでした。まだ筑紫野市の武蔵寺のほうに有名でありました。このことから筑紫野市も観光のシンボルになるようなものが欲しいですね。

(委員長) ありがとうございます。安全安心の面からのご意見はありますでしょうか。

(委員) はい。それぞれコミュニティセンターができ、地域の活動の拠点ということですが、それぞれコミュニティの安全安心部会に消防団は必ず関わらせていただいております。そういう意味では自助、共助の部分と防火防災の啓発というのは、我々の使命ですから、そういう意味では地域に根ざした小回りのきく活動ができていると思っています。

(委員長) 安全・安心というのも近年はずせないキーワードになっており、筑紫野市においても例外ではないと思います。今回コミュニティセンターを整備されたことによりハードウェアの整備としては一定の成果がでていると思い

ますが、今回都市再生整備計画は二日市地区、筑紫地区に分かれています
が、安全・安心のまちづくりは市全域で考えていかなければならないこと
だと思います。

(委員) コミュニティ協議会を作るときに、ワークショップを何回も行いました。
その中で、筑紫地区は買い物する場所までの交通アクセスが課題にあがっ
ていました。特に高齢者の買い物について、二日市地区に比べて商店等が
少ないため、これからの課題であります。

(委員長) 事務局にお伺いですが、現在市庁舎も建設に向けて動いている中で、先ほ
どあがった課題と上位計画との整合性は計れていますか。

(事務局) はい。現在庁舎は平成30年11月の完成を目指し、準備を進めていると
ころです。先ほど、公共交通に関する課題がでていましたが、筑紫野市で
は、地域公共交通網形成計画を策定しています。交通ニーズは都市部と山
村部で違うので、さまざまな住民の皆さんのご意見を聞きながら、市の交
通のあり方を現在検討していますし、今後も続けていきます。

(委員長) 交通の拠点となる駅周辺の整備の見通しについて、なにか言えることはあ
りますか。

(事務局) 駅周辺整備については、特にJR二日市駅の西側がまだ整備に至っていま
せんが、相手があることですので継続してJRと協議していきたいと考
えています。また、西鉄二日市駅周辺の整備についても、課題としてはとら
えているので、事業者、地域住民と協議をしながら検討を進めていき
たいと思います。

(委員長) そういう市全体の交通インフラを新しくしていく動きと、今日の前に抱
えている買い物に行く交通手段がないという課題と、解決には短期、中期、
長期とあると思うが、その辺はしっかりと市で全体をコントロールして事
業を進めていかないと住民の方は満足されないと思うので、そこが大きな
課題かなと思っています。

今回、国の補助を受けて、コミュニティセンター建設等の事業の評価は、
事後評価シートの内容になろうかと思っています。大事なことは、これからど
のようにまちづくりしていくかですが、各委員の方、どのように思われま
すか。

(委員) 市内にやっと7つのコミュニティセンターが出来上がって、これから地域
の活動がやっと平等にできると思っている。私はコミュニティについては、
これからだと思っています。市長が7つのエリアに分けてコミセンを整備
してくれましたから、今後はその地域ごとの考え方でコミュニティを運営
していけば地域の満足度も向上してくると思います。

(委員) 筑紫地区は区画整理があったこともあり、都市型地区と農村型地区とが入
り混じっています。それぞれ同じぐらいの数であり、都市型地区と農村型
地区をどう結びつけていくかが課題です。

また、安全安心の面では、第一金曜日に全地区でパトロールを行っていま

す。消防団にも協力してもらい、犯罪率の低下に寄与できているのと思っています。

(委員長) よく全国ニュース等で見るのは、旧住民の方と新住民の方の仲があまり芳しくないというのを見ますが、その辺はいかがですか。

(委員) そうならないために、日々の交流がまちづくりにおいて大事だと思っている。

(委員長) ありがとうございます。他になにかご意見ありますでしょうか。
なければ、事後評価の内容ですが、事務局が示した案に同意するという
ことでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 事後評価シートとは別ですが、本日出た安全安心の課題をしっかりと踏まえながら、交通関係の課題についても公共交通網形成計画を立てられている
ようですので、計画をふまえてしっかり整備をお願いします。それから、
これも交通に関する事ですが、買い物する場所への交通の改善、さらには
駅周辺のインフラもこれからの課題として、都市計画マスタープラン、さ
らにその上位計画の総合計画等、全体の構想に従いながら、進めていてだ
ければということでもとめとしたいと思います。
ここからの進行は事務局へお返しします。

7. 事務連絡

謝金等の支払いについて、事務局より説明。関連書類の提出を依頼。

8. 閉会

15:45分閉会。